

令和3年はふたつの意味で勝負の年になります。

ひとつは新型コロナウイルス感染症を終息させる切り札となつて欲しいワクチン接種の始まる年。そして日本ハムファイターズ優勝に向けたV字回復の年に、妹背牛町の応援大使に杉浦、井口両投手が選ばれました。

このふたつの闘いに希望を乗せて、北海道日本ハムファイターズ妹背牛後援会のメンバーが、肌触りの良いマスクに、ファイターズのシールを貼ってくれました。心の中で、勝利への声援を送りつつ、感染症との闘いにも勝利する、そんな素晴らしい開幕戦に向けた戦いが始まるのです。

今年もおいしいお米や美しい花を生産される農家の皆様、昨年来大変な料飲食業や、影響を被られた皆様、そしてすべての町民の皆様にとつて、待ち遠しい春の足音がもうすぐ聴こえそうな季節が巡って参ります。

春よ、来い。

町長 田中一史

モー突進レポート

翔 SHOW TIME たいむ

vol.20



笹尾翔大です。今年の節分は2月2日でしたね。これは暦のずれによる影響で、124年ぶりのことだそうですよ。さて、今回は保育所の節分の行事を「鬼役」として手伝ってきました。

1月の初旬ごろ、保育所から節分で鬼役をやってほしいという依頼がありました。以前、保育所のクリスマスイベントに協力し子どもたちにとっても喜ばれたこともありすぐに引き受けました。

当日、まずは先生方との打合せ。昨年は用具室から突然鬼が登場したそうなのですが、場所を変更することのこと。最初に先生が用具室に鬼がいるのではと子どもたちの視線を誘導し、反対側の窓から青鬼が登場。逃げてきたところに玄関から赤鬼が登場するという流れでした。子どもたちが驚くよう趣向が凝っていて、自分も頑張らねばと気合が入りました。

青鬼は同じく依頼を受けた役場企画振興課の田村翔惟さんが、赤鬼は僕が担当することに。赤いつなぎを着て、お面と棍棒を身につけました。



通り過ぎる人の視線を感じながら玄関の外で待機して合図を待ち、いざホールへ。お面をつけていて視野が限られてい

節分イベント

2月2日 認定こども園妹背牛保育所



先生を連れ去ろうとすると子どもたちの総攻撃を受けました...

頑張った子どもたちに今年もたくさんのお福が訪れる事を願っています。

膝をついて降参した後はみんなで写真撮影。子どもたちは怖がりながらも勇気をもって鬼を退治しました。また、年下の子に声を掛けて一緒に逃げている子の姿も見られました。



たので、子どもたちを探して追いかけるのに精いっぱいだったので、どうやらみんな驚いて逃げてくれたようでした。子どもたちは豆の代わりに事前に自分たちで作ったボールで反撃を開始。ボールはビニールテープを巻いて作られたもので、もちろん当たっても痛くないのですが、みんなコントロールが良く、ほとんどを顔や体に受けました。